

北条地区の竜巻被害に、広がる支援の輪

北条地区復興にむけて、「北条竜巻義援金」募集中です。振込先はゆうちょ銀行 加入者名「北条街づくり振興会」口座記号番号00140・9・743416 通信欄に「北条竜巻義援金」とご記入ください。田井の各地区からも義援金が送られました。

◇つくば市の竜巻襲来の際のク ラール・ラジュツシユさんの活躍は 凄かった。

5月6日(日)、クラールさんは 北条地区にある自社(ヤングガンズ)で北条地区に向かった竜巻を 目撃。「これは大変だ!被害が出て いるのではないか」と感じ、すぐに被 災地に行く。そこには、瓦礫を埋も れ負傷した人がいた。瓦礫を取り除 き、血まみれの人をいち早く救出し た。

その後も、「この人たちの食事は どうなるのだろう」と感じ、カレー を500食用意する。そのあとも1 週間、北条の人たちのために、食料 援助をし続けたという。本当に救世 主のような活躍だ。

クラールさんは、田井小学校・父 母と先生の会の会長である。出身は インドだ。15年前から中古車販売業 をはじめ、この地に住み着いた。蚕 影神社にまつわる伝説も、インドか らお姫様が到着した話なのである。 田井地区とインドは強く繋がってい る。

榎田智司(六所地区)

※すそみろくは、平成24年度食と地域の交流促進対策交付金による助成をいただいています。



多くのみなさんの協力で出来上がった焼きそば

◇「つくば道花の会」を中心にして、 神郡・白井地区の方々、すそみろく 編集部、つくばフォレストクラブ、 水戸農業高校の生徒さんたちが力を 合わせ、焼きそばの炊き出しを行っ ました。5月9日(水)、11日(金)13 日(日)の4日間、普門寺の駐車場 をお借りして、昼食と夕食合計約 1000食の焼きそばを調理。北条 で炊きだしを行っているつくば青年 会議所に届けました。ゆで卵、焼き芋、 バナナも提供しました。この間、炊 き出しに参加してくださった方の延 べ人数は約100名になりました。 お隣の北条の方々のために、わずか でも力になりたいとの思いがひろが りました。 小沢陽子(漆所地区)

色彩豊かに化粧した大師様

百八十余年前、地区の荒廃を憂 えた立野地区の皆川重兵衛氏が四 国八十八箇所を巡礼し、三十六番 札所である青龍寺(高知県土佐市) より大師像を勧請。そして集落や 近隣の有志から浄財を募り182 体もの石造大師を建立。それが今 の立野の大師様だ。

この大師様に、古くから36本の 環袈裟が架けられていたが、破損 著しいので、皆川きみ子さんを中 心に10名が、色とりどりの頭巾と 袈裟を縫い、恒例の供養日(毎月 21日)に取り替えました。

森田源美(六所地区)



きれいに化粧直された大師様

今年も魅力的なプログラムがスタートしています!

趣味で仕事で、年間のほとんどを筑波山麓で過ごす編集委員Aが オススメするグリーン・ツーリズムのイベントはこれ!

① 蚕の配布と蚕についてのおはなし会

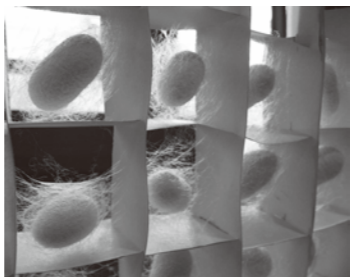
蚕を祀る「蚕影神社」があるこの 地域は、かつて養蚕の里でした。蚕 はお蚕(こ)さまとよばれ大切に扱 われてきました。地域の方に、山 の変化を聞くと「昔は山の中腹まで一 面桑畑だった」といいます。蚕のこ はんは桑の葉だけです。たくさんの 桑の葉を必要とするので、一面に美 しい桑畑が広がっていました。桑の 収穫などを子供たちも手伝ったそう です。

今回のイベントでは農業生物資源



桑の葉をモリモリ食べるカイコ

研究所の研 究者や実際 に養蚕業を 営んでいた 農家さんのお話を伺 うことがで きます。同 時に蚕の里 親も募集しますので、ぜひご参加く ださい!



こんなきれいな繭をつくります

② 畑でもぎって買い物

野菜といえは店頭と並んでいるもの を買うのですが、実っている野菜 を畑から直接収穫するお買い物はい かがでしょうか?様々な野菜が日本 だけでなく世界から届き、スーパ



立派なカボチャがなってます

編集を終えて.....

この度の竜巻によって被害を受 けられた皆様に心よりお見舞い申 し上げます。震災に続く竜巻被害 と、筑波山麓ではいろいろな出来 事がありました。でも、そのたび に感じたのは、筑波山麓の人々の 力強さと地域のつながりでした。 困難をはねのけて前に進むと、そ こにはより良いもの、深いもの、 あたたかいものが見えてくるよう に思います。筑波山麓の未来への 一ページを一緒につくりませんか。 ご参加ご協力をお待ちしています。

すそみろくサポーター 敬称略

つくば市筑波	筑波山神社
農業生産法人 筑波農場	小久保貴史
つくば市小田	武平ファーム
つくば市小沢	杉田慶也
土浦市 専修大学	出口正義
栗原製麺工場	栗原裕一

※協賛会員「すそみろくサポーター」 募集中! 103000円

デザイン・小沢陽子(漆所地区)



私たちが応援しています!



昨年好評だった藍の生葉染め、今年もやりませ

の店頭で並んでいます。でも畑で実っ ている野菜は最高!旬の野菜の収 穫体験、お子様づれのご家族や農業 についてご関心のある方にはオスス メです。

今回、収穫する畑は、筑波山麓の 館地区。筑波山麓ではお米の他に、 野菜から果樹までいろいろな農作物 が栽培されています。イベントが開 催される時期はトマトやカボチャな どの野菜が旬となります。

筑波山を真正面に望みながら、自 分の手で選び収穫した野菜は格別で す。地元こだわりの農家さんの指導 のもと楽しく収穫しましょう。

③ 棚田の稲刈りと生き物観察会

田んぼは、水をふんだんに使うこ とから、もともとは水の湧き出る山 すそにありました。棚田は、山がち な日本の地勢を活かしたもので、山

第24号

すそみろく

筑波山の山麓一帯を「すそみ」と名づけました

第24号(平成24年8月6日)

発行・すそみろく編集委員会

TEL029-866-1122 (田井の里地域づくり愛好会・森田)

TEL029-863-5151 (NPO法人つくば環境フォーラム・田中)



筑波山麓グリーンツーリズム MAP&CALENDAR

★印の問い合わせ、申し込みは
筑波山麓グリーン・ツーリズム推進協議会
TEL&FAX 029-867-1083
http://tsukuba-gt.sakura.ne.jp

★ブラックベリージャムづくり
8月8日(水) 9:30~13:00
参加費：大人1000円、小学生以下500円
定員：15名

★みかんのオーナー
9月9日(日) 9:30~12:00
参加費：1家族1本2000円
みかんの木の選定と草取りをします
収穫は11月の予定
定員：10家族

★「筑波流」茅葺き体験
10月14日(日)
詳細はお問い合わせください

★畑でもぎってお買い物
8月23日(木) 9:00~11:00
参加費：一組1500円(お野菜チケット代)
場所：つくば市館地区
定員：10組程度

★蚕影山神社で繭の奉納
10月23日(火)

田楽の集い 稲刈り
9月30日(日) 10:00~15:00 雨天中止
場所：山の神の棚田
参加費：大人900円、学生・障害者
小人500円(昼食付) 赤米や黒米を
手刈り、あぜで創作田楽舞い
[問]NPO法人自然生クラブ
029-866-2192

★蚕影山神社で繭の奉納
10月23日(火)

★藍の生葉染め
8月26日(日) 10:00~15:30
参加費：大人1500円、小人700円
別途材料費：スカーフ(綿) 1500円、
くつ下(綿) 1000円、ハンカチ(綿)
500円、昼食代1000円

**★蚕の配布と
蚕についてのおはなし会**
7月26日(木) 14:00~17:00
参加費無料

棚田の稲刈りと生き物観察会
9月17日(祝) 10:00~15:00
場所：すそみの田んぼ
参加費：1000円(昼食付)
生き物との共存をめざし沢水で無農薬
米づくりをしている田んぼです！
[問]NPO法人つくば環境フォーラム
029-863-5151

	7月	8月	9月	10月
いきもの田んぼの体験			17日 棚田の稲刈りと 生き物観察会 30日 田楽の集い 稲刈り	20日 すそみの田んぼの 収穫祭(稲刈り参 加者のみ)
くらしの技術の再発見		26日 蚕の配布と 蚕についてのお はなし会		14日 「筑波流」茅葺き体験 23日 蚕影山神社で 繭の奉納
食の再発見		8日 ブラックベリージャム づくり体験 23日 畑でもぎってお買い物	9日 みかんのオーナー	



青空のもと、こんなにたくさんのお米がとれました！(昨年の様子)
↑稲刈りって楽しい！

間部にある農村で形成されてきました。ここ田井地区もそうなんです。「すそみの田んぼ」は、NPO法人つくば環境フォーラムによって維持・管理され、生き物と共生する「生き物田んぼ」をテーマに昔ながらの沢水を利用した田を営んでいます。殺虫剤や除草剤など農薬を使わない米づくりが行われており、生き物たちの宝庫となっています。稲刈り体験の他に、インストラクターによる生き物観察会も合わせて開催されます。トンボやドジョウ、タニシなど、田んぼでおなじみの動植物を採集し、「田んぼの案内人」として永谷真一さんが説明してくれます。子どもにもわかりやすい噛み砕いた

④「筑波流」茅葺き体験
築150年の日本家屋が解体され、六所地区に移築されます。座敷と土間のある伝統的な民家づくりで、屋根は茅葺き屋根です。最近ではすっかり姿を消した茅葺き屋根、中には見ることがないという方もいるかもしれません。「茅」で「葺く」、共に



田んぼやため池にはいろいろな生き物がいるんです



みんなで力を合わせてつくるのが茅葺き屋根です

解説に定評があります。虫少年であつた私も毎回楽しんで聞いています。稲刈りをするのと田や水路には多様な生き物がいることに気がつきます。日本の原風景の「棚田」で、鎌で刈り取る本格稲刈りを体験しませんか。「すそみの田んぼ」の他、「山の神の棚田」でも自然生クラブによる「田楽の舞 稲刈り」が行われます。

再生する民家では茅葺き体験の他にも土壁づくりなど様々なワークもにススキなどイネ科の植物をさします。葺くとは屋根を瓦や茅などで覆うことをさしますので、簡単にいうとススキで屋根をつくります。茅で屋根を葺く職人さんが、「茅葺き職人」です。戦後から50年間で茅葺き屋根が少なくなり、茅葺き職人も少なくなっています。茨城県には「筑波流茅手」といわれる独特の技術が伝わり、今もなお筑波流茅手の職人さんが現職で活動されています。



第2弾は土壁づくり体験
↑土と砂と水と切った稲わらを足で踏んで混ぜます
下地の竹からもにゅとはみ出すくらい土を塗ります→

安藤慧(里山建築研究所)